

事務事業実績測定調書

R5調書番号 165

事務事業名称	環境衛生指導事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健衛生課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	興行場法、旅館業法、公衆浴場法、理容師法、美容師法、クリーニング業法、住宅宿泊事業法、温泉法、化製場法、建築物の衛生的環境の確保に関する法律、有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律、大阪府遊泳場条例				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・興行場、旅館、公衆浴場(温泉を含む)、理容所、美容所、クリーニング所等の利用者			
	サブターゲット	・興行場、旅館、公衆浴場(温泉を含む)、理容所、美容所、クリーニング所等の営業者			
	ターゲットが抱える課題	・興行場、旅館、公衆浴場(温泉を含む)、理容所、美容所、クリーニング所等の公衆衛生の維持、確保			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	利用者が衛生的に施設を利用できる状態				
事業概要	・興行場、旅館、公衆浴場(温泉を含む)、理容所、美容所、クリーニング所や住宅宿泊事業届出住宅など、身近な生活衛生関係施設に対する、公衆衛生の向上及び感染症の発生予防を図る。 ・特定建築物における、空調及び給水設備等について監視指導を行い、衛生の向上及び確保を図るとともに、建築物の維持管理について、環境衛生上の正しい知識の普及啓発を行う。 ・家庭用品規制法に基づき、乳幼児用繊維製品の試買検査を実施し、健康被害の未然防止を図る。 ・遊泳場における施設、設備、管理体制等に係る監視指導を実施し、衛生の向上及び死亡事故等の未然防止を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						生活衛生施設の衛生状況が維持、確保される。				生活衛生施設の施設、水質等の衛生管理状況について監視指導を行う。					
指標設定	指標説明						公衆浴場の浴槽水及び遊泳場の採暖槽、遊泳水槽の水の行政検査適合率【算出式:適合数／行政検査実施施設数×100】				公衆浴場の浴槽水及び遊泳場の採暖槽、遊泳水槽の水の行政検査実施施設数				
					単位		%		単位		件				
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値							R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						100	100	100	100	20	20	20	20
		実績						78	75	77	86	23	16	30	29
達成度						86%				145%					

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②						空調及び給水設備等の衛生状況が維持、確保される。				特定建築物の空調、給水設備等について監視指導を行う。			
指標設定②	指標説明					特定建築物空気環境測定 of 行政検査適合率【算出式: 適合数 / 行政検査実施施設数 × 100】				特定建築物空気環境測定 of 行政検査実施施設数			
						単位		%		単位		件	
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	10	10	10	10
	実績					100	80	86	89	19	5	15	9
達成度						89%				90%			
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						乳幼児用繊維製品が家庭用品規制法の基準に適合する。				家庭用品規制法に基づき、乳幼児用繊維製品の試買検査を実施する。			
指標設定③	指標説明					家庭用品ホルムアルデヒド等の行政検査の適合率【算出式: 適合数 / 行政検査実施検体数 × 100】				家庭用品ホルムアルデヒド等の行政検査の実施検体数			
						単位		%		単位		件	
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	50	50	50	50
	実績					100	100	100	100	50	50	50	50
達成度						100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	3.42
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	18,857	16,555	27,001		
	会計年度任用職員	174	0	827		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	19,031	16,555	27,828		
歳入	物件費計	2,276	3,373	2,637	3,536	74.6%
	歳出計	21,307	19,928	30,465		
	国庫支出金	433	910	910	960	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	314	286	355	362	
	受益者負担（使用料、手数料）	927	872	993	933	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	1	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		1,674	2,068	2,259	2,255	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		602	1,305	378	1,281	

5. 総括的分析

総括的分析	・公衆浴場の立入検査を営業中全ての施設を対象に実施した。施設や循環ろ過設備の確認及び維持管理状況の聞き取りを行い、必要に応じ指導を行った。また、浴槽水が適正に管理されているか確認するため、レジオネラ菌検査を実施し、不適施設に対しては改善指導を行い、再検査で適合を確認した。（浴槽水：不適合4施設/12施設） ・理容所、美容所、クリーニング所の開設時検査において、人的要件及び構造設備の適合を確認した。 ・コロナ後のインバウンド需要の増加から、旅館業法及び住宅宿泊事業開設の問い合わせが増加しており、その対応を適切に行うとともに、適宜、苦情相談にも対応した。 ・特定建築物の立入検査(63件/65件)において維持管理状況を確認し、必要に応じ指導を行った。また、そのうち一部の施設を対象に空気環境測定を実施した。 ・遊泳場は全数立入検査を実施し、施設の衛生管理や監視員の配置等、安全体制の確認を行った。また、遊泳水槽及び採暖槽の水質検査を実施し基準に適合している旨確認した。（遊泳水槽水不適合0施設/12施設、採暖槽水不適合0施設/6施設） ・家庭用品(乳幼児用繊維製品)は、販売店から計50検体を試買し、ホルムアルデヒド含有量を検査したところ、全ての検体が基準に適合していた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	・生活衛生施設関係施設の衛生水準を向上させるよう、各施設に対し、引き続き立入検査等、監視指導を行う。 ・特にレジオネラ症発生の未然防止のため公衆浴場の浴槽水や遊泳場の採暖槽水等の水質検査についても、引き続き実施していく。 ・家庭用品(乳幼児用繊維製品)についても、試買によりホルムアルデヒド含有量の検査を実施していく。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 166

事務事業名称	試験検査事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健衛生課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標			2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち						
	施策目標			7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち						
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種 類	市民サービス		特 性		非選択的事業		区 分		非選択的事務事業	
事業期間	2014(H26)年度			年度	～					年度まで
根拠法令等	地域保健法、食品衛生法、食品表示法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、公衆浴場法、温泉法、有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律、大阪府遊泳場条例									
関係補助金名称						サンセット				～
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット	食中毒・感染症患者または疑いの者。家庭用品や公衆浴場の利用者。								
	サブターゲット	水道関係、調理関係等の業務に従事する者等で、腸内細菌検査等の実施が必要な者。								
	ターゲットが抱える課題	食中毒・感染症のまん延								
	ターゲットが抱える課題	環境関連物質による被害								
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公衆衛生の向上及び増進									
事業概要	・食品衛生監視指導計画に基づく食品の収去検査(食品添加物及び微生物検査) ・食中毒発生時における患者検体からの細菌検査、ノロウイルス等ウイルス検査 ・感染症発生時における患者及び接触者検体の細菌検査 ・感染性胃腸炎集団発生時における患者検体のノロウイルス等ウイルス検査 ・公衆浴場水等のレジオネラ属菌等水質検査 ・家庭用品中のホルムアルデヒド検査 ・住民から依頼の腸内細菌及び寄生虫卵検査									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						起因する衛生上の被害発生を防止する。				食品衛生監視指導計画に基づく食品の収去検査(添加物及び微生物検査)を実施する。			
指標設定	指標説明					精度管理の実施【算出式:実施した精度管理の項目数／年度当初に決定した精度管理の項目数×100】				年度当初に決定した精度管理の項目数			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)				100	100	100	100	13	13	13	13
		実績				100	100	100	100	13	13	13	13
	達成度						100%				100%		

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						各種依頼に対し、規定の期日までに検査結果の判定を終えることにより、被害発生を防止する。				住民等からの依頼の腸内細菌及び寄生虫卵検査を実施する。					
指標設定②	指標説明						検体検査を実施【算出式:期日までに検査結果の判定を終えた検体数／依頼検査を実施した検体数×100】				依頼検査を実施した検体数				
							単位		%		単位		検体		
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値							R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						100	100	100	100	270	270	270	270
		実績						100	100	100	100	257	225	276	331
達成度						100%				123%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	4.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.58
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	24,121	26,170	33,159		
	会計年度任用職員	1,557	3,389	2,396		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	25,678	29,559	35,555		
物件費計		7,434	4,915	6,862	5,482	125.2%
歳出計		33,112	34,474	42,417		
歳入	国庫支出金	1,138	920	1,348	869	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	2,690	2,484	885	764	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,828	3,404	2,233	1,633	
一般財源（物件費に充当されるもの）		3,606	1,511	4,629	3,849	

5. 総括的分析

総括的分析	・食品の収去検査では、微生物検査を125検体で実施し、うち7検体が陽性又は基準値以上であった。理化学検査は、20検体の検査を実施し、全て基準値以下であった。 ・食中毒疑い事例や感染症発生時、ノロウイルス検査及び細菌検査を実施した。食中毒対応におけるノロウイルス検査では、63検体中27検体が陽性であった。また、38検体中2検体でカンピロバクター属菌を検出した。 ・住民からの依頼検査においては、331検体を検査し、すべて陰性であった。 ・家庭用品中のホルムアルデヒド検査については、50検体を実施し、すべて適合であった。 ・精度管理については、年度当初に実施計画を策定し、食品、食中毒及び感染症に関する内部精度管理を実施するとともに、外部精度管理を受検した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、内部精度管理及び外部精度管理に積極的に取り組む。 検査業務に必要な知識や技術を有する人員の確保と育成に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 167

事務事業名称	食品衛生指導事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健衛生課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	食品衛生法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	食品営業者が製造・加工・調理等した食品を喫食する市民			
	サブターゲット	食品の製造・加工・調理等を行う食品営業者			
	ターゲットが抱える課題	食品営業者が不適切に食品を取扱うことにより有害な食品が流通し、喫食者に食中毒等の衛生上の危害が生じるおそれがある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	食の安全が守られ、安心して食品を喫食できる社会環境				
事業概要	- 食品衛生法等関係法令に基づき食品関係施設の衛生管理や食品等の規格又は基準の遵守及び適正表示等の監視指導及び収去検査を実施する。 - 食品等事業者に対して食品衛生講習会を実施し、食中毒や違反食品の流通を予防する。 - 市民からの食品等に対する相談や苦情への対応及び市民に対する食品衛生に関する知識の普及啓発を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			規格・衛生規範等を逸脱した食品の排除・改善が図られる。				監視指導及び収去検査を実施する。			
指標設定	指標説明		食品等の収去検査結果が、規格・規範等に適合している割合【算出式:適合数／食品等の収去検査数×100】				収去検査の検体数			
				単位	%		単位	件		
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		100	100	100	100	300	300	300	300
	実績		94.40	99.11	97.86	98.78	324	338	327	327
達成度			99%				109%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	5.03
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	2.62
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	27,421	37,529	39,712		
	会計年度任用職員	5,918	6,395	10,912		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	33,339	43,924	50,624		
歳入	物件費計	5,136	5,952	5,976	8,215	72.7%
	歳出計	38,475	49,876	56,600		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	23	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	5,299	5,867	9,401	9,734	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	5,322	5,867	9,401	9,734	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	85	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度枚方市食品衛生監視指導計画で定めた検査予定どおり327件の検査を行った。その結果、違反食品となる規格不適合の食品はなく、菓子、食肉及び肉・卵類加工品の汚染実態検査において細菌汚染の可能性が示唆された施設に対しては衛生指導を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	枚方市食品衛生監視指導計画に沿った収去検査による食品の衛生状態の確認、監視指導、及び講習会等による正しい食品衛生に関する知識の普及を行い、違反食品の流通を防止する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 168

事務事業名称	水道法に基づく専用水道及び簡易専用水道関係衛生指導事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	保健所保健衛生課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2012(H24)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	水道法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・専用水道、簡易専用水道等の利用者			
	サブターゲット	・専用水道、簡易専用水道等の設置者			
	ターゲットが抱える課題	・専用水道、簡易専用水道等の適切な維持管理による衛生的で安全な水の供給の確保、公衆衛生の向上			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	・専用水道、簡易専用水道等の利用者が衛生的で安全な水を利用できる状態				
事業概要	・水道法に基づき、「専用水道の布設工事の設計の確認や給水開始等の届出の受理」及び「簡易専用水道の給水開始等の届出の受理」に関する事務を行うとともに、必要に応じて立入検査、報告の徴収、改善指導を行う。 ・飲用井戸等、水道法の規制の対象とならない飲料水を供給する施設の設置者に対し、施設の適正な管理や定期的な水質検査の実施などの衛生指導を行う。 ・大規模な災害による断水時に、近隣被災者に生活用水を供給する井戸として、災害時協力井戸への登録を井戸設置者に対し促す。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			専用水道の施設、水質等が適正に管理されている。				専用水道への立入検査において、施設、水質等の監視指導を行う。			
指標設定	指標説明		専用水道の給水栓水等の行政検査適合率【算出式:適合数／専用水道の給水栓水等の行政検査延べ実施施設数×100】				専用水道の給水栓水等の行政検査の延べ実施施設数			
			単位				単位			
			%				件			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		100	100	100	100	30	30	30	30
指標数値	実績		94	97	97	100	17	31	34	35
	達成度		100%				117%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						簡易専用設置者等が簡易専用水道の維持管理を適正に行っている。				簡易専用水道設置者等に対し簡易専用水道の適正な維持管理の指導を行う。				
指標設定②	指標説明					簡易専用水道の定期検査不適正施設の改善率 【算定式:改善施設数/改善指導実施施設数×100】				簡易専用水道の定期検査結果不適正施設への改善指導の実施率 【算定式:改善指導実施施設数/不適正施設数×100】				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					80	80	80	80	100	100	100	100
		達成度					66%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,857	7,255	6,316		
	会計年度任用職員	2,611	884	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	10,468	8,139	6,316		
歳入	物件費計	0	0	808	1,231	65.6%
	歳出計	10,468	8,139	7,124		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)		0	0	808	1,231	

5. 総括的分析

総括的分析	・専用水道は、全35施設について、全数立入検査(水質検査を含む)や水質検査結果等の報告徴収を行っている。特に自己水源を持つ専用水道(18施設)については、年2回の立入検査を実施している。 ・簡易専用水道は、法定検査不適合施設(構造設備等)については改善指導を行い、その改善状況の確認を行っているが、改善に時間を要する事項など、年度内での改善把握ができなかった施設もあった。 ・水道法規制対象外では、小規模貯水槽水道について簡易専用水道と同様の改善指導等を行うとともに、飲用井戸は相談対応を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	・専用水道は、自己水源を有する施設は年2回、市水のみを水源とする施設は年1回、全施設の立入検査を行い、必要な改善指導等を行う。また、水質検査結果等の報告徴収を行い維持管理状況を把握する。 ・簡易専用水道は、法定検査結果に基づき改善指導及び必要に応じて立入検査を実施するとともに、年度内改善把握のできなかった施設に対し、引き続き改善状況確認を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 169

事務事業名称	墓地等経営許可事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健衛生課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2012(H24)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	墓地・埋葬等に関する法律、枚方市墓地等の経営の許可等に関する条例、枚方市墓地等の経営の許可等に関する条例施行規則				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	墓地等を利用する者および墓地等の周辺住民			
	サブターゲット	墓地等を経営する者			
	ターゲットが抱える課題	墓地等の管理が公衆衛生その他公共の福祉の見地から支障なく行われること			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	墓地等の管理が公衆衛生その他公共の福祉の見地から支障なく行われている状態				
事業概要	墓地、納骨堂又は火葬場を経営しようとする者等からの事前相談を受け、設置場所や構造設備、資金状況等を審査した上で許可申請書を受理し、許可証等を交付する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						許可証等を交付する。				墓地、納骨堂又は火葬場を経営しようとする者等からの事前相談を受け、設置場所や構造設備、資金状況等を審査した上で許可申請書を受理する。			
指標設定	指標説明					墓地等の許可証等の事務処理率 【算定式:事務処理件数÷申請受理件数×100】				墓地等の許可申請書の受理率 【算定式:受理件数÷申請件数×100】			
					単位	%	単位	%					
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)				100	100	100	100	100	100	100	100
実績				100	100	100	100	100	100	100	100		
達成度						100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,400	6,250	8,685		
	会計年度任用職員	0	855	593		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,400	7,105	9,278		
	物件費計	0	0	68	116	58.6%
歳出計		4,400	7,105	9,346		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	68	116	

5. 総括的分析

総括的分析	・墓地、納骨堂の経営等許可申請等に係る事務処理、相談等に適切に対応した。
-------	--------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	・墓地、納骨堂の経営等許可申請等に係る事務処理、相談等に適切に対応していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 172

事務事業名称	狂犬病予防事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健衛生課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2000(H12)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	狂犬病予防法				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	全市民			
	サブターゲット	犬を所有している市民等			
	ターゲットが抱える課題	狂犬病予防法により、必ず狂犬病予防注射を接種しなければならないにも関わらず、近くに動物病院がない場合や、飼い犬を移動させることが難しいため、狂犬病予防注射を接種することが困難。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	飼い犬に対する狂犬病予防注射接種率を100%に近づけることで、狂犬病の発生を予防し、その蔓延を防止し撲滅することにより、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。				
事業概要	狂犬病の発生を予防し、その蔓延を防止し撲滅することにより、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図ることを目的とし、狂犬病予防集合注射を実施することにより、狂犬病予防注射接種率の向上を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		狂犬病の発生を予防し、その蔓延を防止し撲滅することにより、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。				飼い犬に対する狂犬病予防注射が行われる。				狂犬病予防注射を実施する。				
指標設定	指標説明		登録犬のうち狂犬病予防注射接種数の割合				集合注射及び動物病院での接種件数				会場数・委託動物病院数			
			単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	100	100	100	100	12,000	12,200	12,400	12,600	47・17	47・17	47・17	47・17
		実績	67.80	68.31	69.48	66.21	12,298	12,449	12,305	12,193	0・16	0・16	0・16	0・16
	達成度		66%				97%				0%・94%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.65
再任用	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.95
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,749	7,986	7,651		
	会計年度任用職員	5,355	5,887	7,420		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,104	13,873	15,071		
	物件費計	10,042	9,220	7,294	7,943	91.8%
歳出計		21,146	23,093	22,365		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	11,135	6,360	7,521	9,250	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	11,135	6,360	7,521	9,250	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	2,860	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	本市は令和5年4月から、犬にマイクロチップを装着して指定登録機関にその情報を登録した場合、犬の登録とみなす狂犬病予防法の特例制度(ワンストップサービス)に参加したため、マイクロチップを装着した動物取扱業の犬の登録が増加した。動物取扱業の犬は出入りが頻繁に行われるため、転出後の手続きが追い付かず実際よりも登録数が多く、相対的に接種率が低下した可能性がある。必ずしも接種に行く飼い主の割合が減ったとは言えない。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを踏まえ、集合注射の実施方法を検討する。併せて通知等による犬の飼い主への啓発活動を継続し、動物取扱業には転出した犬の手続きを確実に行うようお願いするなどして、狂犬病予防注射接種率の向上を目指す。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 651

事務事業名称	浄化槽法に基づく適正管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	保健所保健衛生課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2014(H26)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	浄化槽法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・浄化槽の利用者、周辺住民および水利水源の所有者			
	サブターゲット	・浄化槽の設置者、保守点検業者等			
	ターゲットが抱える課題	浄化槽によるし尿及び雑排水の適正な処理を図り、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与すること			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	浄化槽によるし尿及び雑排水の適正な処理を図り、生活環境の保全及び公衆衛生が確保された状態				
事業概要	・浄化槽法に基づき、浄化槽の設置・廃止等の届出受理、設置者に対して浄化槽の維持管理の指導等を行う。 ・浄化槽保守点検登録の申請、変更等の受理を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			浄化槽設置者等が浄化槽の維持管理を適正に行っている。				浄化槽設置者等に対し浄化槽の適正な維持管理の指導を行う。			
指標設定	指標説明		浄化槽の定期検査不適正施設の改善率 【算定式:改善施設数/不適正施設数×100】				浄化槽の定期検査不適正施設への改善指導実施率 【算定式:改善指導実施施設数/不適正施設数×100】			
			単位				単位			
			%				%			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		80	80	80	80	100	100	100	100
	実績		35	47	36	61	100	100	100	96
	達成度		76%				96%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.02
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,200	1,562	790		
	会計年度任用職員	2,680	2,394	83		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,880	3,956	873		
	物件費計	0	0	0	21	0.0%
歳出計		4,880	3,956	873		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	148	249	74	250	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	148	249	74	250	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	- 浄化槽法に基づく設置届、廃止届等の受理を適切に行うとともに、法定検査結果不適合施設（構造設備、水質等）については改善指導を行い、その改善状況の確認を行っている。しかしながら、改善に時間を要する事項など、年度内で改善把握ができなかった施設もあった。 - 浄化槽保守点検業登録の申請、変更等の届出の受理、登録証の発行を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	- 浄化槽法に基づく設置届、廃止届等の受理を適切に行うとともに、法定検査結果不適合施設（構造設備、水質等）については改善指導を行い、必要に応じ立入検査を実施するとともに、年度内に改善把握ができなかった施設に対し、引き続き改善状況確認を行う。 - 浄化槽台帳について、下水道部局が管理する下水道接続台帳を確認し、現況との整合を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 724

事務事業名称	動物愛護・適正飼養推進事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健衛生課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち									
	実行計画名	7-2.動物愛護の啓発推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	動物の愛護及び管理に関する法律				
関係補助金名称	枚方市猫不妊手術費補助金			サンセット	2023(R5)年度 ～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	犬・猫の取巻く環境で生活する者(全市民)			
	サブターゲット	犬・猫のことで悩みごとがある者及び悩みごとの原因となっている犬・猫に係る者			
	ターゲットが抱える課題	犬・猫に起因する悩みごと(飼い犬の飼育が困難になった、猫が増えることによる糞尿被害など)がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	犬・猫が適正に飼養され、犬・猫に起因する悩みごとがない状態。(殺処分をゼロにし人と動物の共存できる社会)				
事業概要	犬及び猫の野犬の捕獲、負傷動物の収容、飼えなくなった犬・猫の引取り等を行うとともに、動物の適正飼養の啓発・指導を行うことにより、狂犬病の発生を未然に防止し、動物愛護の推進を図る。 登録している飼い犬等の不妊手術を実施した者からの申請に基づいて、補助金を交付する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		犬・猫が適正に飼養され、犬・猫に 起因する悩みごとがなくなる。				犬猫の譲渡を行う。				野犬の捕獲、負傷動物の収容、飼 えなくなった犬・猫の引取り等を行 う。			
指標 設定	指標説明	殺処分数				譲渡・返還件数／捕獲・収容・引 取り件数				捕獲・収容・引取り件数			
	単位		件	単位		%	単位		件				
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標 数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	0	0	0	0	100	100	100	100	40以下	40以下	40以下
実績		0	0	0	0	84.70	76.92	75.00	75	22	35	27	38
達成度		100%				75%				101%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		犬・猫が適正に飼養され、犬・猫に起因する悩みごとがなくなる。				苦情相談に対応(啓発・指導等)する。				犬・猫に起因する悩みごとの相談受付を行う。			
指標設定②	指標説明	殺処分数				苦情相談対応件数				苦情相談受付件数			
		単位 件				単位 件				単位 件			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	0	0	0	0	8,100	8,050	8,000	7,950	8,100	8,050	8,000	7,950
指標設定③	実績	0	0	0	0	10,714	7,512	6,213	5,519	10,714	7,512	6,213	5,519
	達成度	100%				131%				131%			
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		犬・猫が適正に飼養され、犬・猫に起因する悩みごとがなくなる。				飼い主により猫の不妊手術が行われる。				枚方市猫不妊手術費補助金を交付する。			
指標設定③	指標説明	殺処分数				不妊手術件数				補助金交付件数			
		単位 件				単位 件				単位 件			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	0	0	0	0	900	900	900	900	900	900	900	900
指標設定③	実績	0	0	0	0	922	919	773	506	922	919	773	506
	達成度	100%				56%				56%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.80
再任用	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.60
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	18,476	24,391	24,625	
		会計年度任用職員	1,840	2,844	2,204	
		特別職非常勤	0	0	0	
		附属機関委員	0	0	0	
		人件費計	20,316	27,235	26,829	
	物件費計		16,323	19,826	30,107	34,453
歳出計			36,639	47,061	56,936	87.4%
歳入	国庫支出金		0	0	0	0
	府支出金		100	100	100	100
	受益者負担(使用料、手数料)		2,174	2,308	81	37
	市債		0	0	0	0
	その他		6,215	10,125	15,601	17,513
	歳入計(物件費に充当される特定財源)		8,489	12,533	15,782	17,650
一般財源(物件費に充当されるもの)			7,834	7,293	14,325	16,803

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。

5. 総括的分析

総括的分析	・殺処分数については、収容中に死亡した動物を除けば全ての動物を譲渡し、前年度に続き殺処分0を達成した。 ・苦情相談件数については犬登録や狂犬病予防注射に関する相談と、猫不妊手術費補助金に関する相談が減少したことで全体的に減少した。 ・猫の不妊手術費補助金交付については、前年度に続き補助金の上限数には達しなかった。市内の猫の手術が進み、手術未実施の猫の数が減少している可能性について、野良猫に関する苦情数などとあわせて検証していく必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	・譲渡・返還割合は、死亡する負傷動物や幼齢動物がいるため、100%とはならないが、譲渡の促進により殺処分0を継続するよう努める。また、全ての飼い主への終生飼養・適正飼養の啓発に力を入れ、飼養放棄や多頭飼育崩壊による引取り件数の増加を抑える。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 869

事務事業名称	保健衛生課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健衛生課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外								
	施策目標	99.施策体系外								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	保健所保健衛生課職員			
	サブターゲット	保健所保健衛生課業務に関わる市民			
	ターゲットが抱える課題	課内の予算、庶務等の運営事務の適正な実施			
	ターゲットが抱える課題	職員の人材育成の実施			
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	課内の予算、庶務等の運営事務の適正な実施、職員の人材育成が実施されている状態				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値												
	目標 (見込み)												
	実績												
達成度													

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.40
再任用	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	24,902	22,386	22,978		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	24,902	22,386	22,978		
歳入	物件費計	256	225	318	287	110.8%
	歳出計	25,158	22,611	23,296		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		256	225	318	287	

5. 総括的分析

総括的分析	- 課内予算、庶務等運営事務が適正であった。 - 国等、関係機関で行われる研修会等へ積極的に参加した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適切な課運営事務を行うとともに、研修会への積極的な参加等により、若手を中心とした職員の専門的スキル、知識の向上に努める。